

《担当者名》教授 / 泉 剛

【概要】

各臓器がんの疫学(死亡率、罹患率、リスクファクター)、特徴と臨床症状、病期診断について学び、病期ごとの適切な治療選択と予後(術前・術後補助療法や化学放射線療法)について学習する。

【学修目標】

各種の悪性腫瘍の疫学、症状、診断、治療についてについて学習し、概略を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	神経系の腫瘍	脳腫瘍、精髄腫瘍、眼の悪性腫瘍の疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛
2	頭頸部腫瘍	舌がん、口腔がん、咽頭・喉頭が、唾液腺腫瘍、甲状腺がんの疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛
3	肺の悪性腫瘍	肺がん、縦隔腫瘍、胸膜腫瘍の疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛
4	消化管腫瘍	食道、胃・十二指腸、小腸・大腸がん、消化管リンパ腫の疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛
5	肝・胆・膵腫瘍	肝がん、膵がん、嚢胞性膵腫瘍の疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛
6	腎・泌尿器の腫瘍	腎・尿管・膀胱・前立腺がんの疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛
7	乳癌・子宮癌	乳癌、子宮体癌、子宮頸がん、絨毛性疾患、卵巣癌の疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛
8	皮膚の悪性腫瘍	有棘細胞癌、基底細胞癌、悪性黒色腫、皮膚リンパ腫の疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛
9	骨・軟部腫瘍	骨肉腫、軟骨肉腫、ユ-イング肉腫の疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛
10	造血器腫瘍	白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の疫学、症状、診断、治療について説明できる。	泉 剛

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席・受講中の質疑・レポートで評価する。

【教科書】

指定しません

【参考書】

日本医師会雑誌 第138巻 特別号 がん診療update 跡見 裕 監修 日本医師会
日本臨床腫瘍学会 編集 新臨床腫瘍学 南江堂

【学修の準備】

病理学の教科書などで、それぞれの悪性腫瘍の特徴について要約し準備する。